

これからの歩行アプローチに求められる アウトカム評価

～StepLab を用いた定量分析から運動療法への展開～

超高齢社会において歩行機能の維持や歩行再建は急務であり、令和8年診療報酬改定の方針性においても「アウトカム評価の重要性」や「FIM スコアと歩行パラメータの関連」が示されるなど、今後はデータを基にした客観的なアプローチが不可欠です。本セミナーでは、最先端の歩行評価機器「StepLab」を用いた定量分析の実際を解説。地域在住高齢者の測定事例をもとに、歩行速度・歩幅・左右差などのデータをどう解釈し、個別性の高い運動療法や効果的な介護予防プログラムへ結びつけるかまでを網羅的に学びます。



松田 雅弘 先生

順天堂大学

保健医療学部 理学療法学科

松田雅弘、順天堂大学保健医療学部理学療法学科・教授

2004年東京都立保健科学大学卒業、2009年首都大学東京大学院 人間健康科学研究科修了 博士（理学療法学）

専門理学療法士（支援工学、小児、神経、基礎、地域、予防）

一般社団法人 日本支援工学理学療法学会 理事長など

8/7 金
19:00～20:00

アーカイブ

8/7 ～8/21

※要事前予約

お申込み・詳細



<https://www.irc-web.co.jp/seminar/20260807>

開催形式：ウェビナー形式

受講費：無料

共催



インターリハ株式会社
www.irc-web.co.jp



株式会社HELTEC
HELTEC Co., Ltd

お問い合わせ

03-5974-0231（平日9:30～17:30）

seminar.info@irc-web.co.jp